



認定こども園について

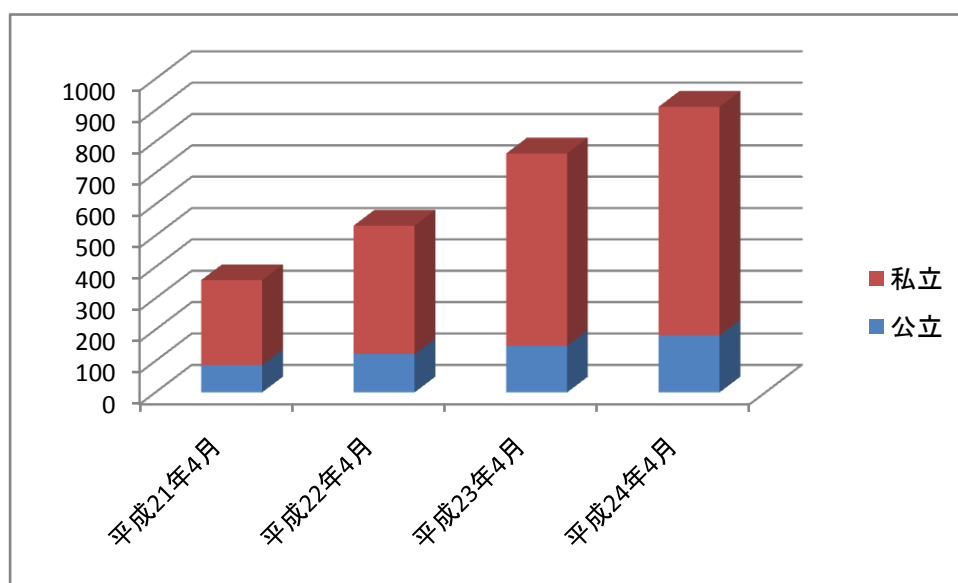
今回号では、「認定こども園」の政府および自治体の取り組みに関する情報をご紹介します。

政府では、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」を平成 18 年に制定して以来、いわゆる「幼保一体化」の取り組みが進められてきました。

そもそも、「認定こども園」とは、幼稚園と保育所の両方の機能、そして子育て支援機能を総合的に提供する施設です。幼稚園・保育所等のうち、次の①、②の機能を備えた施設を申請に基づき都道府県知事が認定こども園と認定します。

- ① 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能（保護者の就労状況等にかかわらず受け入れる）
- ② 地域における子育て支援を行う機能（子育て相談や親子のつどいの場の提供など）

ここ 4 年間の全国の推移を見ても、平成 21 年 4 月の認定件数が 358 件だったのに対し、平成 24 年 4 月には認定件数が 911 件と、2 倍以上の伸びを見せています。



公立、私立の区別を見ると、圧倒的に私立の数が多いことがわかります。



平成 18 年 10 月にこの制度が導入される以前に、自治体独自のアイデアで、「幼保一体化」に取り組んできた自治体もあります。

今回ご紹介するのは瀬戸内海に位置する、香川県直島町の幼稚園と保育園です。

香川県香川郡直島町 1841 という住所に幼稚園と保育園が隣接している、非常にユニークな二つの園があります。



(直島幼児学園幼稚園)

直島町を引用すると、・・・

昭和 48 年度、直島幼稚園の改修にあたり、町の幼児教育のあり方を抜本的に改革した新園舎が文教地区に完成しました。この新しい直島幼稚園は、それまで行政上二次元化されていた幼稚園と保育園を一つの学園とし、幼児の教育と福祉の機会均等をはかり、運営上の一元化をはかるもので、幼・保それぞれの長所を生かしつつ、幼児のしあわせをはかる理想的な幼児教育の場をめざすものです。

幼児の発育と心理をつかんだ幼児教育にふさわしい建築、一斉保育から自由保育への脱皮をめざした設計、そして、文教地区構想の一環として最高度の設計による園舎の建築が実現しました。無限の可能性を秘めた幼児。その可能性の芽生えを大事に育て、伸ばしたい。この園舎にはそのような願いが込められています。

・・・と述べられています。筆者がこの地を訪れたのは、もう 15 年ほど前のこととなります。まだ幼保一体化(一元化)という言葉すらなかった時代に、非常に斬新な考えで行政独自に工夫を凝らして、作られたのがこの二つの園です。

現在、栃木県内には 8 か所の認定こども園があります。全国で一番多い東京都では 74 か所、二番目に多い兵庫県では 72 件にのぼります。各自治体では問い合わせ窓口を設置しています。利用料金の設定は各地域、園によって大きく異なりますので、詳しくは各自治体の窓口へお問い合わせされることをお勧めします。

(ご参考) 認定こども園 幼保連携推進室 <http://www.youho.go.jp/ichiran.html>

※市区町村への問い合わせなどもお手伝いさせていただきますので下記までご連絡下さい。



【お問い合わせ先】 株式会社日本デイケアセンター
東京都千代田区猿楽町 2-2-3
TEL 03-3293-1581(代)

自治医大卒業生女性医師支援専用アドレス : ikuji-sodan@nihon-daycare-center.co.jp